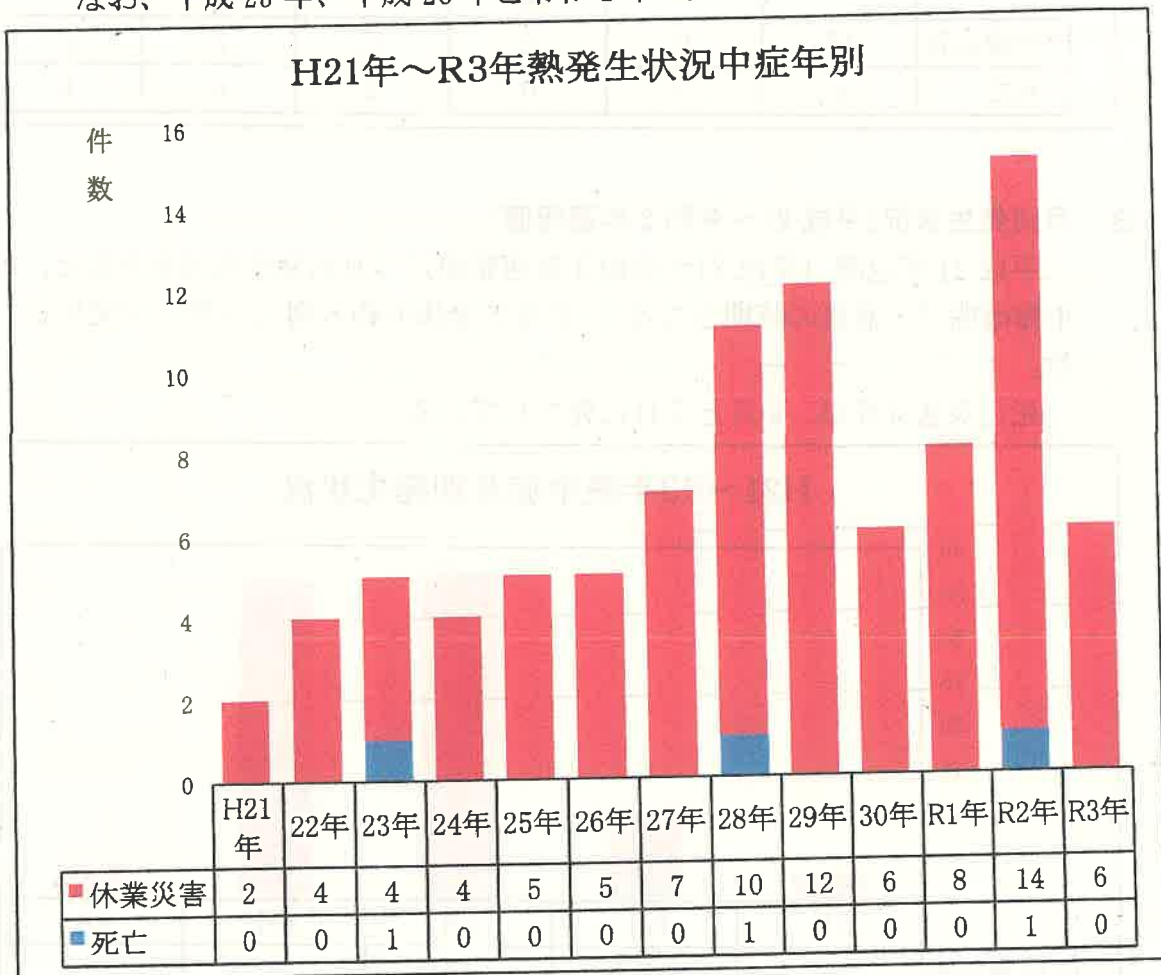


宮崎県内における職場での熱中症による死傷災害の発生状況  
(休業4日以上労働災害)

1 熱中症による年別発生件数の推移(平成21年～令和3年速報値)

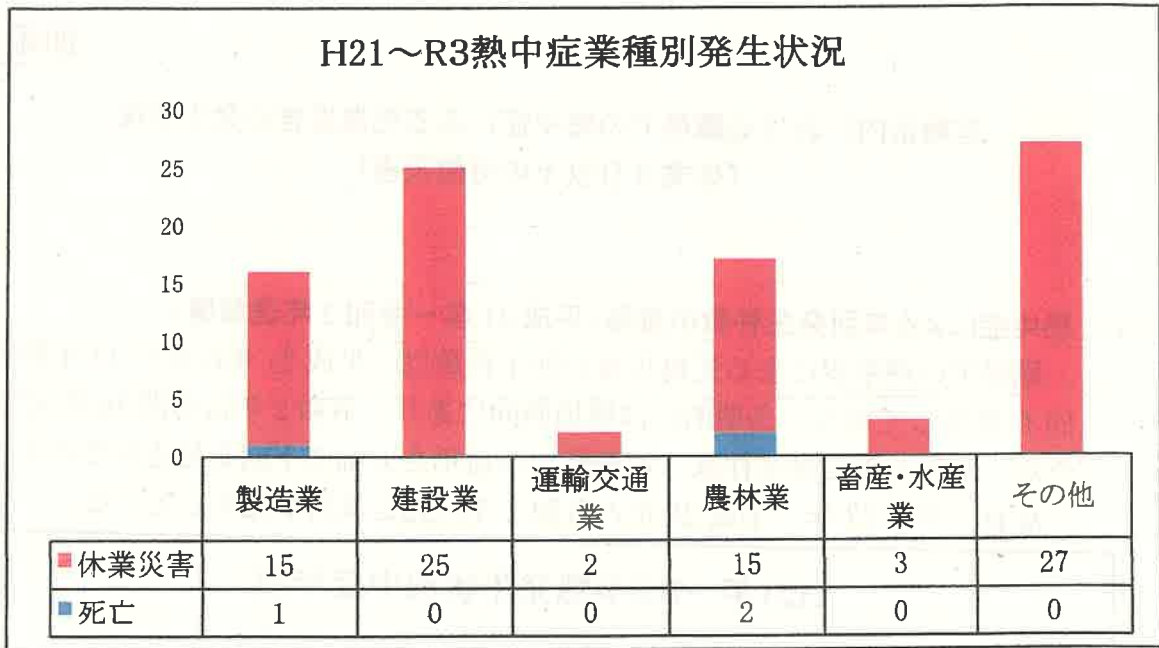
職場での熱中症による死傷災害の発生件数は、平成21年以降の13年間で90件発生しており、長期的には増加傾向にあり、令和2年は年間16件発生したが、令和3年の発生件数(速報値)は前年を大幅に下回る見込みである。  
なお、平成23年、平成28年と令和2年に死亡災害が発生している。



2 熱中症による災害の業種別発生状況(平成21～令和3年速報値)

平成21年以降(平成21～令和3年速報値)の業種別の熱中症の発生状況を見ると、建設業が25件(27.8%)で最も多く、次いで農林業が17件(18.9%)、製造業が16件(17.8%)と続いており、この3業種で全体の6割以上を占めている。

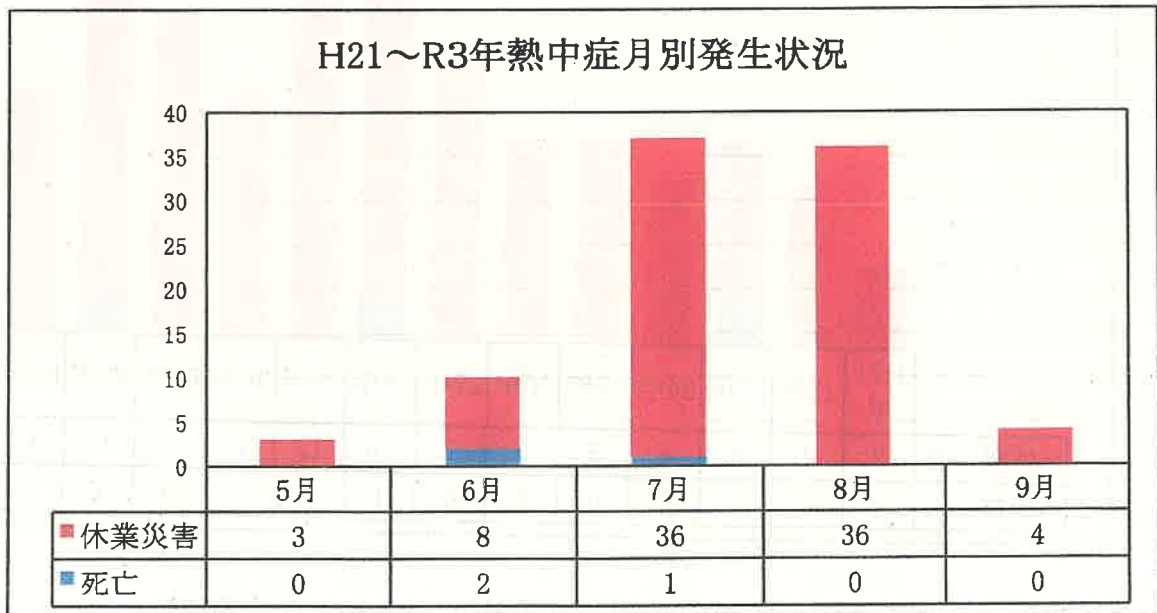
死亡災害3件は、林業と製造業で発生している。



### 3 月別発生状況(平成 21～令和 3 年速報値)

平成 21 年以降(平成 21～令和 3 年速報値)の月別発生状況をみると、毎年梅雨明け・盛夏の時期となる 7・8 月に全体の約 8 割(73 件)が発生している。

死亡災害 3 件は、6 月と 7 月に発生している。

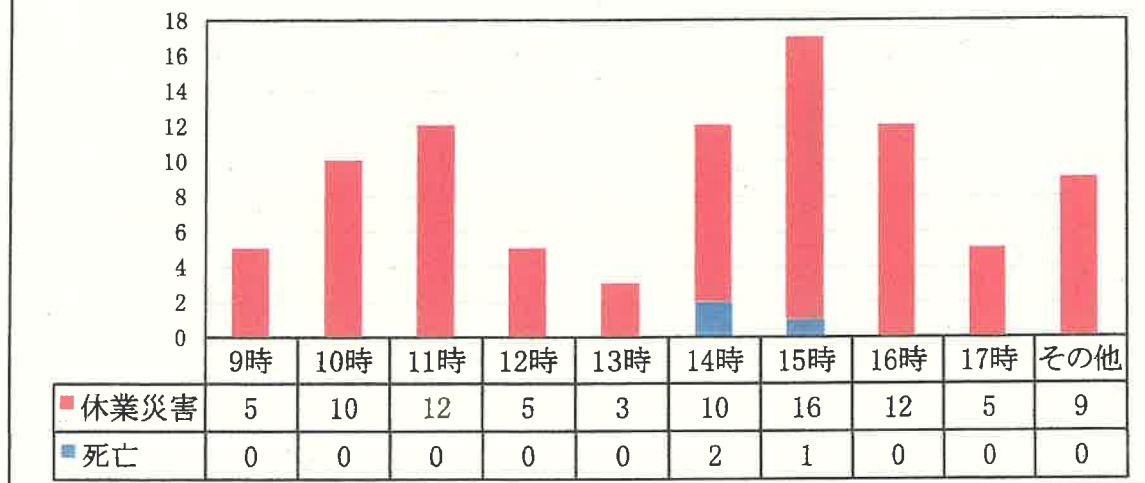


### 4 時間帯別発生状況(平成 21～令和 3 年速報値)

平成 21 年以降(平成 21～令和 3 年速報値)の時間帯別発生状況をみると、気温が上昇する 10・11 時台、気温が最も高くなる 14 時から 16 時台が多くなっている。なお、休憩時間となる 12・13 時台に発生は少ない。

死亡災害 3 件は、14・15 時台に発生している。

### H21～R3年熱中症時間帯別発生状況

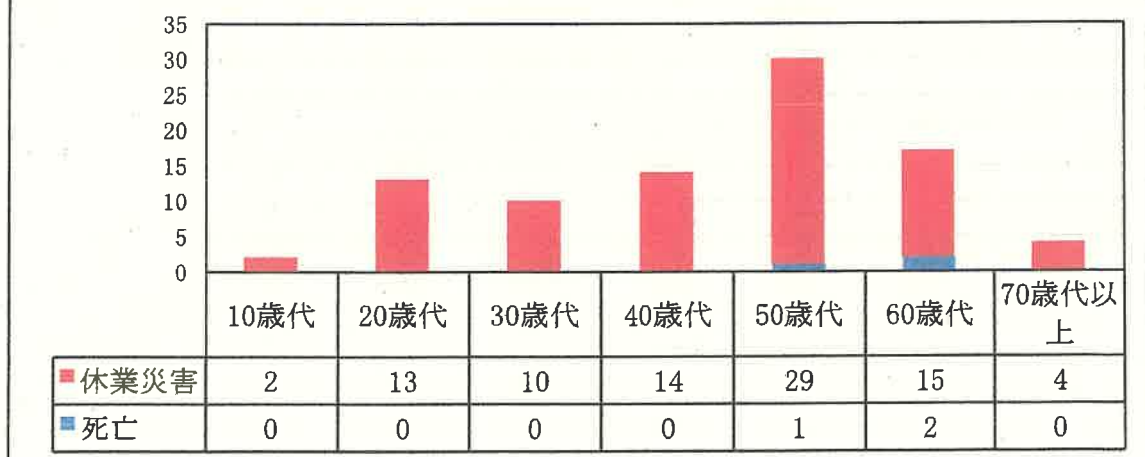


#### 5 年齢別発生状況(平成21～令和3年速報値)

平成21年以降(平成21～令和3年速報値)の年齢別発生状況をみると、50歳代が30件で全体の33.3%を占めており、次いで60歳代、40歳代、20歳代、30歳代となっている。

死亡災害3件は、50歳代と60歳代となっている。

### H21～R3年熱中症年齢別発生状況



※ 統計は労働者死傷病報告(休業4日以上)の数値である。

# STOP! 熱中症

令和4年5月～9月

## クールワークキャンペーン

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

職場における熱中症により、毎年約**20人**が亡くなり、約**600人**が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう!










労働災害防止キャラクター チョーイ ワン吉

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

●実施期間：令和4年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



確実に実施できているかを確認し、にチェックを入れましょう!

準備期間（4月1日～4月30日）	
<input type="checkbox"/> <b>WBGT値の把握の準備</b>	<b>JIS規格「JIS B 7922」に適合したWBGT指数計を準備しましょう。</b> 
<input type="checkbox"/> <b>作業計画の策定など</b>	WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう <b>余裕を持った作業計画</b> をたてましょう。 
<input type="checkbox"/> <b>設備対策・休憩場所の確保の検討</b>	簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、 <b>WBGT値を下げる方法</b> を検討しましょう。 また、作業場所の近くに <b>冷房</b> を備えた休憩場所や <b>日陰</b> などの涼しい休憩場所を確保しましょう。 
<input type="checkbox"/> <b>服装などの検討</b>	<b>通気性の良い作業着</b> を準備しておきましょう。 <b>身体を冷却する機能をもつ服</b> の着用も検討しましょう。 
<input type="checkbox"/> <b>教育研修の実施</b>	熱中症の防止対策について、 <b>教育</b> を行いましょ。迷わず救急車を呼びましょう! 
<input type="checkbox"/> <b>労働衛生管理体制の確立</b>	<b>衛生管理者</b> などを中心に、事業場としての <b>管理体制</b> を整え、必要なら <b>熱中症予防管理者の選任</b> も行いましょ。 
<input type="checkbox"/> <b>発症時・緊急時の措置の確認と周知</b>	体調不良時の休憩場所や状態の把握、悪化時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょ。 

【主催】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

## キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP  
1

### □ WBGT値の把握






JIS 規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。



WBGT指数計の例

STEP  
2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

□ WBGT値を下げるための設備、休憩場所の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。休憩場所には氷、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。	
□ 通気性の良い服装等		
□ 作業時間の短縮	WBGT値が高いときは、 <b>単独作業を控え</b> 、WBGT値に応じて <b>作業の中止</b> 、 <b>こまめに休憩をとる</b> などの工夫をしましょう。	
□ 暑熱順化	暑さに慣れるまでの間は <b>十分に休憩を取り</b> 、 <b>1週間程度かけて徐々に身体を慣ら</b> しましょう。特に、 <b>入職直後</b> や <b>夏季休暇明け</b> の方は注意が必要です！	
□ 水分・塩分の摂取	のどが渇いていなくても <b>定期的に水分・塩分</b> を取りましょう。	
□ プレクーリング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。	
□ 健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。	
□ 日常の健康管理など	前日はお酒の飲みすぎず、よく休みましょう。また、当日は朝食をしっかりと取るようにしましょう。熱中症の具体的症状について理解し、熱中症に早く気付くことができるようにしましょう。	
□ 作業中の作業者の健康状態の確認	管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。特に、入職直後や夏季休暇明けの作業員に気を配りましょう。	

STEP  
3

熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

□ WBGT値の <b>低減対策</b> は実施されているか
□ WBGT値に応じた <b>作業計画</b> となっているか
□ 各作業者の <b>体調</b> や <b>暑熱順化の状況</b> に問題はないか
□ 各作業者は <b>水分</b> や <b>塩分</b> をきちんと取っているか
□ 作業の <b>中止</b> や <b>中断</b> をさせなくてよいか



### □ 異常時の措置

～少しでも異常を感じたら～

- ・ いったん作業を離れ、休憩する
- ・ 病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・ 病院へ運ぶまでは一人きりにしない

## 重点取組期間（7月1日～7月31日）

- 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しまししょう。
- 水分、塩分を積極的に取りましよう。
- 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましよう。
- 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましよう。
- 休憩中の状態の変化にも注意し、少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく病院に搬送しまししょう。

